

## トヨタ、新型4WD車 メガクルーザーを発売

トヨタ自動車(株)は、卓越した機動性を持ち、災害時の救助活動などで活躍できる新型4WD車 メガクルーザーを、1月9日より全国のトヨタ店を通じて一斉に発売した。

メガクルーザーは、最先端技術を導入し、不整地走破性能・登坂性能・小回り性能など、卓越した機動性を備えることで、災害時の救助・復旧作業や厳しい条件下での学術調査など、既存の車両では走行困難な状況の中で活躍できる新しいジャンルの4WD車である。主な特長、車両概要は次のとおり。

### 【主な特長】

#### 1. 卓越した機動性

逆位相4WSによる5.6mの最小回転半径の実現に加え、フルタイム4WD、センターデフロック付高低速2段切換トランスファー、大きなアプローチ&デパーチャーアングル、420mmの圧倒的な最低地上高が生む卓越した不整地走破性能・登坂性能

#### 2. 多用途に応える室内

前席2人、後席4人乗車の余裕のある室内空間。大型救急器具なども積載可能な幅2,050mm、最大積載量600kgのラゲージスペース

メガクルーザー=MEGA CRUISER (MEGAは英語で大きいの意味の連結形)



メガクルーザー [KC-BXD20V-RRPEW] <オプション装着車>



【車両概要】

1. 卓越した機動性

- トランスファーには、通常走行用のハイレンジに加え、ウォーキングスピードでの障害物越えなどで有効な減速比の大きいローレンジ切換えとセンターデフロック機構を装備。また、前後ディファレンシャルには、“トルセン”LSDおよび緊急脱出性に優れたデフロック機構を標準装備。
- ワイドトレッド、3,395mmのロングホイールベースにもかかわらず、最大12°の逆位相4WSを採用することで、最小回転半径5.6mを実現。
- ギヤを介してハブを駆動することでドライブシャフトの上方オフセットを可能とするハブリダクション機構を採用し、37インチの大径タイヤとあいまって420mmの最低地上高を確保。大きなアプローチ&デパーチャーアングルとあわせて卓越した不整地走破性能を実現。
- エンジンには、39.0kg・mの大トルクを1,800回転で発揮し、粘りのある走りを実現する4.1ℓインタークーラー付直噴ディーゼルトーボの15B-F T型を採用。
- サスペンションは、操縦性・走行安定性と救急患者の乗車などを考慮し、乗り心地を高いレベルで確保するダブルウィッシュボーン式4輪独立懸架を採用。
- ブレーキは、4輪ともディファレンシャルに隣接させたインボードタイプのベンチレーテッドディスクとし、バネ下重量を軽減。
- 走行中にも操作ができ、ぬかるみ、雪上でのスタック防止およびスタックからの脱出時にリヤタイヤの空気圧を2段階に減圧できるタイヤ空気圧調整装置をオプションで設定。

2. 多用途に応える室内

- 全長5,090mm、全幅2,170mm、全高2,075mmの車両サイズの中に、前席2人、後席4人が余裕をもって乗車できる室内空間とするとともに、大型の救急器具などの積載が可能な幅2,050mm、最大積載量600kgのラゲージスペースを確保。
- リヤ中央席は、シートバックの前倒し機能により、荷物を取り出しやすくしたほか、シートバックをまたがずにラゲージスペースへ移動できるなど高い機能性を実現。
- ラゲージスペースへの乗降を容易にする格納式ステップを装備。
- チルトアップおよび脱着が可能なサンルーフをオプションで設定。

このほか、車両用途に応じて、仕様変更、特別装備など幅広く対応していく予定である。

【メーカー希望小売価格】

(消費税は含まず、単位：千円)

車名	エンジン	定員	トランスミッション	東京	名古屋	大阪
メガクルーザー	15B-F T	6人	ECT	9,620	9,615	9,620

ECT：電子制御式4速オートマチック

以上